

平成29年度 施策評価表

課・グループ名	保健福祉課高齢者包括グループ
---------	----------------

作成年月日：平成30年 9月28日

施策名	4 - (3) - ③ 社会参加と生きがいのづくりの支援		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(3) 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり	③社会参加と生きがいのづくりの支援
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 南幌町介護保険事業計画に基づき、高齢者が介護状態に陥ることなく、健康で心豊かな生活を送れるよう支援します。 ● 地域でお互いを見守り、支え合う意識づくりや交流の場への参加を推進します。 ● 介護予防の必要性を広く周知し、地域で高齢者自身が自主的に介護予防に取り組むことのできる環境づくりを目指します。 ● 老人クラブ活動の支援を行い、スポーツや地域奉仕活動など高齢者の生きがいのづくりを支援します。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 元気な高齢者が、状態を維持し生活できるよう、快足シャキッと倶楽部や老人クラブでの運動教室、水中運動教室を実施しています。 ● 高齢者が楽しく、心豊かな生活を送ることができるよう、健康マージャンやカフェサロン、男の料理教室を実施しています。 ● 老人クラブ連合会を中心に地域の老人クラブで、軽スポーツや地域奉仕活動などが取り組まれています。 ● これからの高齢社会においては、高齢者は福祉やサービスの受け手としてだけでなく、担い手としての役割も期待されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢期を迎えても健康で生き生きと生活していくためには、積極的に生きがいのづくりを進めていくことが必要です。 ● 元気で活力ある高齢者自身が、介護ボランティアや地域の見守り・支え合い活動の担い手となり、地域を活性化させていくことが重要です。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
	高齢者が健康を維持し、楽しく生活を送ることができるよう、一般介護予防事業のうち介護予防普及啓発事業（町が行う事業）の参加延べ人数を代替指標とする。		成果指標（総合計画・施策評価）			可能	
						不可能	
			代替指標 ※成果指標がない場合			未計測	
			介護予防普及啓発事業（町が行う事業）の参加延べ人数			○ 可能	
			不可能				
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標	人				4,430	4,830	
実 績	人	2,531	3,745	4,587	4,804		
達成率	%				108.4		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の 達成度	高齢者が自ら健康や介護予防に関心を持ち、参加意識が高まっているとともに、参加しやすい介護予防事業の提供ができた。 地域の老人クラブについては、加入者の減少による運営の継続が難しくなっている単会もあり、今後も継続して運営できるような取り組みが必要である。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】 事務事業の種類	【必要性】 事務事業の必要性	【妥当性】 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H29実績	H30予算	
					実績								
1	地域支援事業(一般介護予防事業)	(1)	保健福祉課	介護予防事業参加者数(延べ数)	4,430	人	①介護予防普及啓発事業(町が行う事業) 快足シャキッと事業、男の料理教室、水中運動事業、健康マージャン事業、リアル野球盤大会事業 ②介護予防活動支援事業(町が地域を支援する事業) 貯筋力アップ事業(老人会運動)、カフェサロン事業、ボランティアP事業	I	I	2-1 見直して継続 拡大	5,137	高い	
					4,804	人					5,733		
2													
3													
年度別施策全体の事業費合計(千円)													
											H29事業費	5,137	
											H30予算	5,733	

②H30に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性(手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。(現状のまま継続する)	本事業を通じて、介護予防の啓発に取り組むとともに介護保険事業計画に基づき、高齢者が健康で可能な限り自立した生活を送るために、地域での高齢者を取り巻く環境づくりを含めた介護予防事業を進めていく。
	B 概ね効果的な構成である。(一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。(見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。(抜本的な見直し等が必要である)	
	B	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価(今後の展開、事業の見直し等)委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成30年度以降の予算の方向性
			A	1				
			B					
			C					
			D					
			○	拡大				
				維持				
				縮小				